

FOR YOU

東京電機大学中学・高等学校同窓会

VOLUME

39

朋友

発行 2024 (令和6) 年3月13日
発行責任者 伊奈 敬
発行所 東京電機大学中学・高等学校同窓会
http://www.tdu-chukodoso.com/
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
(東京電機大学校友会)
TEL 03-5284-5140



会長挨拶

大いにクラス会を開催しよう!!

東京電機大学中学・高等学校同窓会は母校と同窓生の応援団です!

東京電機大学中学・高等学校同窓会 会長

伊奈 敬

卒業生の皆様には、平素より同窓会活動には多大なご協力ならびに多大なご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきて、徐々に世の中は、コロナ以前に戻り始めています。同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか?

さて、同窓会では、令和6年5月25日(土)の総会終了後、小金井キャンパスで「二十歳の祝い」を開催します。令和4年3月に卒業した方々には、後日招待状をお送りいたします。

最近では、クラス会を開催する卒業生が増えてきました。「同窓会の活性はクラス会から」と同窓会は考えているので、大変うれしいことです。卒業生の皆様には、ク

ラス会を大いに開催をしていただき、懐かしい先生方や同級生たちへの近況報告をしてください。開催時には同窓会ホームページから開催の申し込みをしてください。そしてクラス会開催のお祝い金をゲットしてください。

令和5年5月に開催した同窓会総会では、令和5年3月に卒業し、電機大学へ進学した卒業生に総会案内を送ったところ、数十名の参加がありました。同窓会総会案内は同窓会HPに掲載しておりますので、ぜひ同窓会総会へ参加していただき、東京電機大学中学校・高等学校へ訪ねてきてください。同窓会幹事、母校の教職員も大歓迎です。若い同窓生の力で、同窓会に新しい風を吹き込んでほしいと思っています。東京電機大学中学・高等学校同窓会は、母校と同窓生の応援団です。



名誉会長(校長)挨拶

祝・隣接校地取得! 小金井セカンドステージが始まります

名誉会長(東京電機大学中学校・高等学校 校長)

平川 吉治

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動にご支援ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。お陰様で令和5年度は、長く続いた感染症の規制が大幅に緩和され、生徒たちは本来あるべき姿で学校生活を過ごすことができました。キャンパス内にはマスクを外した生徒たちの笑顔があふれ、活気を取り戻した1年となったことをたいへんうれしく感じています。

また昨年の武蔵野祭では、まるでコロナ禍が明けけるのを待ちかねたように、多くの卒業生たちが小金井キャンパスを訪れてくれました。武蔵野祭開催期間中、同窓会の皆様に運営していただいた「だんわ室」では、卒業生と先生方との久しぶりの再会を懐かしむ声が途切れることはありませんでした。

さらには、昨年は中高にとって大きなニュースがありました。これまで中高ではさらなる教育環境の充実に向けて校地拡張を模索してまいりましたが、このたび北側に隣接する約800坪の土地を校地として取得することができました(一部賃借地)。今年は新たに取得した校地の活用プロジェクトが始まる予定です。

小金井キャンパスは平成4年の開設以来、今年で32年となります。コロナ禍というインターバルを挟んでこれからセカンドステージを迎えます。中高はさらなる発展を目指し邁進してゆく所存です。同窓生の皆様には、今後ともこれまでと変わらぬご支援ご協力をたまわりますよう、どうかお願い申し上げます。



学校だより
中学校

仲間と感動体験を共にすることは、心のエネルギーの源泉。さまざまな意欲が湧いてきます！



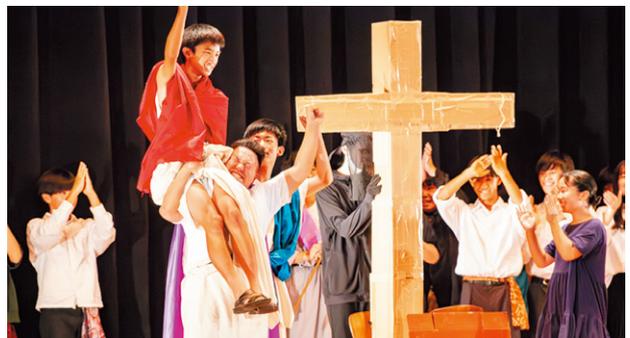
中1 林間学校 (2023/7/23 ~ 25)
富士山 5 合目で全員集合！



武蔵野祭① (2023/9/16 ~ 17)
中1 は林間学校の研究発表を行いました



武蔵野祭② (2023/9/16 ~ 17)
中2 は全員で合唱をしました



武蔵野祭③ (2023/9/16 ~ 17)
中3 による演劇・走れメロス



見学会① (2023/10/13)
中1・野川散策



見学会② (2023/10/13)
中2・多摩六都科学館



見学会③ (2023/10/13)
中3・TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)
海外の雰囲気を感じながら英語を体験



体育祭 (2023/10/28)
中3 はソーラン節を披露



学校だより
高等学校

学校行事も思い切り取り組めるようになりました。学校行事は経験と成長の場です。



体育祭 (2023/6/10) 体育祭執行部が中心となり開催。楽しい競技から真剣勝負の競技までいろいろ。
(左)「1年クラス対抗競技『いかだ流し』」(中央)「女子による熱戦『棒引き』」(右)「応援合戦」



←カンボジアボランティアツアー
(2023/8/1～8/7)

シムリアップから車で1時間ほどのトンレアップ村にある小学校で、英語や日本語を教えるボランティアに取り組みました。カンボジアの歴史や経済についても学びました。

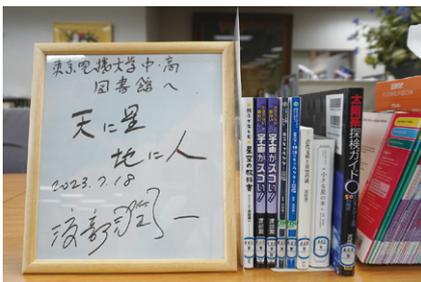


東北スタディツアー
(2023/7/29・30)

宮城県の門脇小学校や大川小学校を訪問しました。今回は、中学校教諭であり、ご自身も被災者遺族である佐藤敏郎先生のお話を聞き、自分が同じ立場であったらと考えました。最後は、今伝えたいことを各自でまとめました。



武蔵野祭 (2023/9/16・17) 4年ぶりに人数制限なしで一般のお客様・保護者をお招きして開催しました。執行部は念入りに準備を重ねました。(左)「吹奏楽部演奏」(中央)「放送部」(右)東京電機大学理工学部から「フォーミュラ SAE プロジェクト」の学生が協力してくれました。



第44回文化講演会 (2023/7/18)

今年は、天文学者の渡部潤一先生をお招きして「第二の地球はとてつもない数で存在する～天文学が明らかにした最新の宇宙像～」という演題でご講演いただきました。地球外生命の可能性、そもそも生命の材料とは宇宙でどのように作られているのかなど、ユーモアを交えながらお話しくれました。



クラブだより

男子バレーボール部

松岡 冬音《男子バレーボール部 顧問》

男子バレーボール部は現在、高校生 22 名、中学生 14 名、主に週に 4 日間活動しております。3 年前、先代の深谷先生から部を引き継いで新体制となったものの、同じタイミングで新型コロナの感染拡大が起き、練習のやり方や部としての活動方法、目標などをすべて 1 からリスタートしなければならませんでした。顧問も含めほとんどが初心者であった部を当時の 2 年生と 3 年生、そして OB、コーチの松本先生が引っ張ってくれて、少しずつ部として、チームとして目指す形が明確になりました。また、一昨年から新たに副顧問の林先生と五味コーチを迎え、中学生の活動もさらに盛んになっています。

昨年 6 月に私とともに部を育ててくれた 3 年生が引退し、その後も彼らが後輩の面倒を見続けてくれている姿を見て、男子バレーボール部はずっと「支えあって成長する部」であったのだということを実感しております。チームスポーツの中でも連携や作戦が特に重要であり、攻撃を完成させるまでチームで練習を積み重ねなければならないバレーボールだからこそ、部員、顧問、コーチ、OB 全員でコミュニケーションをとり、成長をして

いかなければなりません。現在 2 年生の新部長は常に大きな声で呼びかけ、チームが勝つために必要なことは何かを考えてくれています。この調子で練習に励み、目標の一つである公式戦 2 日目出場を実現してほしいと期待を胸に膨らませております。

まだまだ課題だらけですが、全員で成長していく所存です。ぜひ、男子バレーボール部の応援をよろしく願います！



クラブだより

オリジナルダンス同好会

受け継ぐことと超えていくこと

奥原 もな美《オリジナルダンス同好会 顧問》

オリジナルダンス同好会は、中学生 14 名、高校生 12 名で週に 4 日、文化祭と年度末に行う発表の練習を中心に活動しています。代々受け継がれてきたストレッチや基礎練習のメニューに加え、自分たちで作成した練習のメニューや振り付けを行い、舞台構成を工夫しながら練習に取り組んでいます。今年度は卒業生をコーチに迎え、アドバイスをもらうようになりました。以前より初心者も増え、自分たちだけで活動していると、「見せる」ことを見失いがちになります。コーチの指導のもと、客観的な視点を得て、自分をどう見せるか、どう表現する

かを意識することの大切さを学びました。部の慣例では、3 月の発表が実質的な引退となっています。先輩たちの指導を受けながら、演技に磨きをかけ、さらにその学年らしい色を出していくことが何よりも大切だと感じています。メンバーの成長を皆様にも感じていただけることと思いますので、ぜひ発表本番には足をお運びください。

20 年以上の活動を経て、今年度から同好会に昇格することができました。先輩方が培ってきた伝統を大切にしつつ、自分たちらしさを求めて、よりよいステージ作りを目指していってくれるものと期待しています。





大塩 博美

高校卒業後に上京して大学へ、その後ご縁があって東京電機大学高校へお世話になった後、50年ぶりに東京から遠く離れた長崎県の島原に帰ってきました。島原という地域はおっとりとしていて、島原時間というものがあります。少々都会慣れた身には閉口するところも多々あり、自分自身がそんなところで生まれ育っていたことを忘れていたような有様です。移住して半年ほど経ちますが、なんだか東京へのホームシックという逆現象が起きているような気がします。それも電大中高での多くの生徒や先生たちとの物語が、昨日のように思い出されてくるからでしょうか。

6月から県立島原工業高校で美術の講師をしています。小石川にあった電高のように電気、機械、建築科の実習室がありますが、1学年各科合わせて100名ほどです。生徒の減少は地方ほど大変だと感じます。運動部も盛んで、広いグラウンドでは全国大会で優勝した男子ソフトボール部をはじめ、ラグビー部、野球部、サッカー部が活動しています。ほかにも多くの部活があり、射撃部があるのも特徴的です。

ここは以前、普賢岳の噴火で大変でしたが、今は少し静かになっているようです。今住んでいるところは普賢岳の前にある眉山の北側になり、市内より標高が高いので普賢岳がくっきりとよく見えます。晴れた日の頂上の切り立った様子はまだまだ火砕流の怖さを思い出させます。今は山の中腹にビジターセンターができ、監視体制もしっかりとしています。写真①は、今行っている島原工業高校のグラウンドの端から撮りました。以前電高の修学旅行で学年のみんなと眉山の裏の道路を走り、普賢岳の噴火の生々しい跡を見たときの風景に比べると、緑も多く、静かな山間に時間の経過を感じずにはおられません。あの頃の学年のみんなも元気でやっているかなあ……。

有明海のほうを見ると、熊本や天草の山々、福岡県の大牟田港などが見渡せます。日が昇るころの赤く染まった空がこの時期毎日のように見えます。写真②は、今日の朝の有明海と島原城の朝靄に包まれた景色です。学校の3階の窓から撮影しました。幻想的な写真になりました。こんな自然の空気を満喫しながら生活しています。

もう一つ島原の行事で忘れてはならないものがあります。精霊流しです。長崎の物静かな精霊流しが有名ですが、島原には昔から荒々しく威勢のいい精霊流しがあります。今年は久しぶりにお盆の島原を歩きました。写真③④は、今年のお盆の精霊船です。海に浮かぶ精霊船は美しいですね。以前は市内の3～4か所の地区で流していたのですが、コロナの影響で船の数は少なくなってい

ました。今年は久しぶりに多くの精霊船が出ていたようです。

なんだか島原の紹介文になってしまいましたが、50年という歳月の中で変わってきたものがたくさんあります。それでも変わらず延々と続いてきたものもあります。今、きな臭い状況が世界を包んでいますが、静かにこんな田舎のことを聞いていただけるような平和な世界が続いてくれるように願いたいものです。遠いこの地より東京電機大学中学高校の皆さん、そして卒業生の皆さんのご多幸をお祈りします。

2023年11月 美術科の大塩博美でした



①眉山と普賢岳



②有明海と島原城



③精霊船



④精霊流し



近所のカキ氷屋さんにて



切り替えが大事

影山 大

今年度から生活指導部長になりました影山と申します。今まではクラスや学年、部活動を中心に考えていれば良かったのですが、今年度からは学校生活の全体を見ることと、個々の生徒の状況を考えて生活指導・生徒支援をしていくことの両方が求められるようになり、悪戦苦闘しております。

ある先輩に事前に「休みの日はしっかり休んだ方がいいよ」とアドバイスをもらっていましたが、役職に就いてからその意味がよくわかりました。生活指導部が扱う事柄はすぐに答えが見つかることばかりではなく、考え続けてしまうことが多いです。考え続けているうちに自分がどんどん落ち込んでいくときもありました。そうなると思考も停止しやすく、良い考えが浮かばなくなってしまい、悪い循環になってしまいます。というわけで、休みのときの切り替えが大事であるということと今は理解しています。

その切り替え (= 近況) を少し書かせていただきます。まずは継続していることから。通勤兼ツーリング用のオートバイは6代目になりました。普段は奥多摩などの近場の山を回ってくるのですが、昨年、念願の松本～美ヶ原高原～ビーナスライン～白樺湖の「裏ビーナス」を回ることができました。だいたいツーリングに行く前は「〇〇と××に行きたい」と妄想することが多い割に、いざ当日になると面倒になって行くのをやめてしまうことも多いのですが、今回は意を決して約500kmの道のりをグルメも観光もせずに9時間弱かけて行ってきました。当日、東京の気温は25度前後だったのに対して、美ヶ原は13度！ 冬装備を持って行ってよかったです。

部活動の顧問として始めた少林寺拳法は、拳歴が20年を超えました。以前に比べて稽古に行ける頻度は減ったのですが、道場は自分のサードプレイスとして大切な場所になっています。

最近注目していることは将棋です。といっても自分で指すのではなく、棋士という人間に興味があります。プロ野球選手は1球団あたり約70人で12球団あるので、現役選手は800人以上いますが、棋士は亡くなった方も含めて339人しかいません。棋士(四段)になるためには養成機関の奨励会に入り、リーグ戦を戦って26歳までに上位2名までに入らなければいけません。その厳しい戦いを勝ち抜いた人が棋士となり、その人たちの中で戦い続けて8つのタイトルを争うのですから、藤井八冠のすごさは異次元のものだと想像できます。一つのことに集中してのめり込めるというのには憧れます。

最後に、ここまで教員という仕事を継続してこられたのも在校生や卒業生の応援と周囲の方々の励ましのお陰だと感じています。これから少しでもお返しができるように頑張っていく所存です。これからもよろしく願っています。



ビーナスラインから白樺湖を望む



稽古中!



結果 (Consequence)

和田 昌之 (チャーリー和田)

1975年電高に入学し、1年生の終わり頃だったと思う。「親父、俺アメリカに行くよ」と話すと、「あーそうか。自分の人生だ、好きなことをしなさい。だが高校だけは卒業しなさい」と放任主義の父から軽い返事が返ってきた。戦後中央大学を卒業して設計技師の仕事をするごく普通の真面目なサラリーマンの父親だった。毎日図面とのにらめっこ。「疲れた、疲れた」とよく母に愚痴をこぼしていたのを覚えている。そんな父もタバコの吸いすぎで79歳で他界した。

48年前の当時の電高は男子校で、飯田橋の小石川後楽園の目の前という最高の立地であった。入学初日に頭が薄い小柄な担任の先生がホームルームで、物理1、数学1・2、機械工学、情報処理、科学と、続々と教科書を配りだした。「なんじゃこりゃ。理数系オンパレードや」。自分が撃たれたのを知らず血まみれになった体を見て衝撃を受けた松田優作のような自分がいた。「間違ったところに来てしまった」。後悔先に立たずとはこのことである。

在学中は計算尺検定試験、溶接工、危険物取扱者の資格を取得させられたが、毎日6時間目が終わると計算尺のテストを受け、できるまで残された。だが先生はどうしようもない私たちに怒ったりしたことは一度もなかった。今思えば私たちのような不良生徒の扱い方が上手な先生だったと思う。

中間や期末テストの成績は、毎回1位からビリまで廊下に張り出され、校内中のさらしものにされたのを今でも覚えている。まるで処刑宣告である。最下位の生徒にもっと頑張れとの激励の言葉であったのかもしれない。日本の不登校児の数が約30万人になったそうだ。私の在学中、勉強は嫌いであったが不登校とは無縁で、毎日学校に通うのが楽しくてしかたがなかった。それは周りに大妻、白百合、麴町と、名門女子高校がこれでもかというくらいあったからである。また、毎日食堂で食べる電高うどんが世界一おいしい天ぷらうどんであったからではないかと懐かし、今でも夢にまで出てくるのである。

ドラムが叩きたくて、持丸先生の率いるプラスバンドに入部し、毎日放課後、ドラムの練習に励んだ。ドリル練習もした。「バカヤロー。お前たちなー」と、持丸先生の喝

が飛んだ。「俺はな、戦時中敵の弾をくぐり抜けて生きのびたんだ。お前らもその気で演奏しろ」と、厳しかったが、先生の一言一言が自分の心に響いた。芸大を卒業された先生は、何曲も作曲され、各パートも自身で作られていたので、パーカッションの私が間違えると、すぐに喝が飛んできた。持丸先生はたくさんの電高生徒に影響を与えた先生の一人であったと思う。「先生、音楽の成績10くれませんか？」とふざけて聞いたことがある。「バカヤロー。芸術に満点はないんだ」と、すかさず喝が飛んだ。何となく納得した自分がいたのだった。

幼い頃からアメリカかぶれで、日曜日になると、「兼高かおる世界の旅」や「奥様は魔女」を小さな白黒テレビにかじりついて見ていた。「いつか俺もアメリカに行く」と、子供心ながら決意したのを思い出す。そして1978年2月、羽田空港からアメリカへ旅立つ自分がいた。20人以上の電高の学友、担任の先生が見送りに来てくれた。嬉しかった。涙をサングラスで隠していた。しかし、テレビで見ていたアメリカとは違い、現実のアメリカは説明がつかぬほど厳しかった。語学のハンディキャップ、人種差別、永住権など諸々通らなければならない問題や、大きな壁が私の前にそびえ立っていた。そしてその日から私の苦難の人生が始まったのである。

アメリカでは辛いことの連続であったが、一つ一つ苦難を乗り越え、33歳でゴルフ場の隣に念願の新築の家を建て、日本から母を呼び3年間一緒に暮らすことができた。これが私の最後の親孝行であった。父は一軒家を持つのでできなかった我が家、母は涙を流して喜んでくれた。そんな母も、持病の悪化により69歳でこの世を去った。母の死に目には会えなかったが、電話での最後の言葉が「ありがとうね」であった。涙がとめどなく流れた。

私の師から「若いうちは苦労しなさい」とよく激励されたが、その本当の意味を60歳を過ぎて悟り、そして心から感じる今日この頃である。41歳の厄年で転職し、外資系の会社に入社した。営業の経験などまったくなかったが、入社数年後に10億を売り上げるトップセールスマンにのり上がった。会社からも表彰された。周りの上司や先輩方は、慶応、早稲田、一橋とみな一流大学出身で高学



タイの高校でボランティア活動をしていた時



JALの教官と5回にわたりおもてなし講座をさせていただいた時

歴。そんなシチュエーションにもかかわらず副社長からよく会食に誘われた。その上司は、私をまるでお客さんのように丁寧に扱ってくれた。一度も「お前」「和田」などと呼び捨てにされたことがなかった。「この人についていこう」と思った。ニューヨーク、シカゴ、ラスベガス、ロシアと、よく出張した。毎日仕事が面白くてしょうがなかった。お給料も良かった。しかし、入社してから15、6年が経ち、ロスのフリーウェイでの通勤ラッシュの中、心の中にぽっかりと穴の開いたような、何か人生に対して不満足な自分があることに気づいた。「自分の人生これで終わってよいのか」と考え始める日々が続いた。

そんな中、たまたまドキュメンタリー番組を見た。26歳の日本人女性がタイでボランティア活動をしている内容であった。彼女は、目が不自由な中で活動をしていた。ボランティア活動は私も結構してきたが、そのストーリーを見て涙が止まらなかった。そして数年後、私は仕事を辞めてタイに永住した。日本とアメリカで育った私が見た東南アジア諸国は悲惨な光景だった。便所はない、シャワーはドラム缶に貯めた雨水で行水、風が吹けば飛んでしまうようなバラック小屋に住んでいる住民を見てカルチャーショックの連続であった。なんて自分は裕福なのだろうと、自分の今いる立場に感謝の気持ちでいっぱいになった。物質的に恵まれていないにもかかわらず、タイの子ど

もたちの笑顔は美しかった。自分のことばかり考えている自分が情けなくなり悔悟した。人間みな様々な境遇で生まれてくる。体が不自由な人、両親から暴力を受け、貧乏な家庭で明日の食事すら食べられない子どもたち。その反面、裕福な環境で生まれ、何一つ不自由なく人生を送る人。なぜだろう？ 前世での行いがよほど悪かったのか？ そんなこと、この能なしの私にわかるわけでもない。しかしこれだけは言っておきたい。夢は必ず叶うと。祈って感謝の気持ちで行動すれば、人生は自分の思いどおりにいくと。そして人のために尽くすことが本当の幸せにつながると。自分の境遇を日々高めることが大切であり、自分の心が負けてはならない。これからも生涯青春で、死するまでチャレンジすると心に決意する。

対話は励ましの力 語り合うことから心の扉が開かれる
わたしの人生の指針となる言葉

Confidence Conviction Compassion

駄文、拙文、お許しください。

和田 昌之(チャーリー和田)

昭和53(1978)年 東京電機大学高等学校 機械科 卒業

活動
報告

2023年度 東京電機大学中学・高等学校同窓会

同窓会は、年間を通しさまざまな活動を行っています

武蔵野祭 だんわ室

令和5年9月16日、17日の2日間、武蔵野祭が開催されました。4年ぶりに外部の観覧者の入場が許され、中高同窓会ではクラブ活動後援会と合同で恒例の「だんわ室」を開催しました。久しぶりの開催で、開設準備や運営は記憶をたどりながら行いました。

当日は天候にも恵まれ、大変多くの来場者があり、「だんわ室」にも多くの同窓生にお越しいただきました。同級生同士だけでなく、先生方や先輩方も世代を超えて、学校での様々な思い出話に花が咲いていました。「だんわ室」をきっかけに改めて母校を思い返し、同級生同士の旧交を温めてクラス会やOB・OG会の開催にもつなげていただくとともに、中高同窓会にも関心をお寄せいただけると運営に携わりましたスタッフ一同、無類の喜びです。次回の武蔵野祭でも、多くの同窓生の皆様にご来店いただき、「だんわ室」にお立ち寄りいただき、仲間との楽しいひと時をお過ごしください。



高等学校 校旗寄贈

中学・高等学校同窓会は、令和5年3月11日に高等学校の校旗を新調し、母校に寄贈いたしました。

今までの校旗は、小石川校舎の頃から使用されていて、50年以上経っていたものでした。同窓会の幹事たちは、母校の行事の際などに古くなった校旗を見て心配をしていましたが、新調して寄贈することになりました。

当日は、伊奈同窓会長から平川校長に贈呈し、感謝の言葉をいただきました。同窓会幹事をはじめ、贈呈に立ち会った一同で新しくなった校旗を見て喜び合いました。

なお、この新校旗は、寄贈の4日後、3月15日の高等学校卒業式でお披露目されました。



① 総務委員会

総務委員会は、昨年度同様に広報委員会・クラス会促進委員会との連携、校友会と連携協力をして各事業・行事等を見直し、実施可能な範囲で同窓会活動を推進いたしました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、中学校・高等学校の行事も緩和され、入学式・卒業式・文化講演会・芸術鑑賞会・体育祭等は保護者のみ参観可能となり、武蔵野祭については、従来のように卒業生も参観可能となったことから、同窓会も下記のように調整し実施しました。

- 1) 幹事会の計画・運営…オンライン(2回)・ハイブリッド(1回)・対面開催(6回)
- 2) 幹事会を東京千住キャンパスで開催(2回)
- 3) 第64回総会開催(準備・運営)小金井キャンパス
- 4) 武蔵野祭における投票(来校者対象)の実施、卒業式に表彰ならびに記念品贈呈
- 5) クラブ活動後援会との連携活動の実施(武蔵野祭

- だんわ室等)
- 6) 校外研修会の計画を見直し、見学会を実施
 - 7) 在学会員活動参観(武蔵野祭)
 - 8) 各会合資料を関係者に事前配信
 - 9) 入学記念品、卒業記念品の贈呈
 - 10) 新会員に同窓会活動・校友会活動についての説明会の実施
 - 11) 幹事会における現中学校・高等学校校歌の練習は中止(新型コロナウイルス感染症対策のため)
 - 12) 「二十歳の祝い」合同クラス会の開催を次年度総会後に記念式典として実施
 - 13) 「オンラインクラス会」開催方法の具体案の検討と試行
 - 14) 『朋友』39号作成への対応
 - 15) 東京電機大学中学校卒業研究発表会の優れた発表に対して、奨励賞を授与
 - 16) 校内に同窓会掲示板を設置

② 広報委員会

- 同窓会ホームページメンテナンス、中高同窓会 web サーバメンテナンス

- 同窓会誌『朋友』39号の発行
- 東京電機大学校友会「校友会のしおり」発行の支援

③ クラス会促進委員会

クラス会促進委員会は「同窓会の充実とクラス会の開催の促進を図る」ことを第一と考え、下記項目を予定し、クラス会開催支援活動を行いました。

- 1) クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続を図る。
- 2) 母校と連携し、クラス会開催を促進する。
- 3) クラス会開催クラスの名簿の収集等を行う。
- 4) あらゆる場面を通じて、同窓会の活性化とクラス会開催の促進PRを行う。

- 5) クラス会およびクラブOB・OG会開催時(対面形式・リモート形式)に、名簿等の提供、1クラス15,000円の援助、学園の近況などの情報提供をできるように校友会との連携強化を図りながら支援を行う。

クラス会およびクラブOB・OG会の申請は16件でした(令和5年11月20日時点)。

令和5年度クラス会・クラブOB・OG会申請一覧

- (1) 令和5年11月20日時点の申請実績です。
- (2) 申請者の申請内容に基づき作成しています。

No	クラス会、クラブOB・OG会名称	学校種別・卒業年	開催予定日
1	全日制電気科電力課程2組	高等学校昭和35年	令和5年4月4日
2	全日制機械科 昭和55年卒	高等学校昭和55年	令和5年5月20日
3	第22回定時制電気科 電力課程(Bクラス)・電気機器課程(Cクラス)	高等学校昭和27年	令和5年5月21日
4	全日制普通科L2 昭和59年卒	高等学校昭和59年	令和5年7月29日
5	全日制普通科3L 1.2	高等学校平成30年	令和5年8月24日
6	全日制普通科3L 1.2.3.4.5.6.7.8 平成28年卒	高等学校平成28年	令和5年9月9日
7	全日制普通科1組	高等学校昭和36年	令和5年9月14日
8	高校 鉄道研究部OB会	高等学校卒業生	令和5年9月16日

9	高校 歴史地理研究部	高等学校卒業生	令和5年9月17日
10	高校 平成26年卒 普通科7組クラス会	高等学校卒業生	令和5年10月7日
11	高等学校 昭和41年卒 電子科3年1組	高等学校昭和41年	令和5年10月16日
12	高校 平成元年卒 電子科1組	高等学校平成元年	令和5年11月11日
13	高校 平成29年卒 普通科1組2組	高等学校平成29年	令和5年12月29日
14	高校 昭和40年卒 電力科・通信科1組2組・機械科・計測科	高等学校昭和40年	令和6年1月16日
15	高校 昭和40年卒 普通科1組2組3組	高等学校昭和40年	令和6年1月16日
16	高校 平成29年卒クラス会	高等学校平成29年	令和6年2月17日

2024 (令和6) 年度 事業計画

① 総務委員会

* 計画項目 *

- 1) 令和6年度幹事会を10回程開催(計画・運営)
- 2) 入学記念品として、バッジ(校章)を贈呈
- 3) 新会員に同窓会活動・校友会活動についての説明会を実施
- 4) 第65回総会開催(準備・運営)
- 5) 武蔵野祭「だんわ室」の開設(準備・運営)および投票・表彰
- 6) 見学会の開催(校外研修会として開催)
- 7) 卒業記念品として、証書挟みの贈呈
- 8) 在学会員活動参観(武蔵野祭・体育祭・文化講演会・芸術鑑賞会・クラブ活動)
- 9) 各会合資料を関係者に事前配信(Eメール)
- 10) 幹事会を1~2回千住キャンパスで開催(校友会との懇親)
- 11) クラブ活動後援会との連携活動(武蔵野祭だんわ室その他)
- 12) 「二十歳の祝い」合同クラス会の開催支援(令和6年5月記念式典を予定)
- 13) 「オンラインクラス会」開催方法の具体案を案内
- 14) 『朋友』40号作成への対応
- 15) 東京電機大学中学校卒業研究発表会の優れた発表に対して、奨励賞を授与
- 16) 校内に設置した同窓会掲示板の運用

② 広報委員会

* 計画項目 *

- 同窓会ホームページメンテナンス、中高同窓会 web サーバメンテナンス
- 同窓会誌『朋友』40号の発行
- 東京電機大学校友会「校友会のしおり」発行の支援

③ クラス会促進委員会

* 計画項目 *

対面形式以外にリモート形式の開催も推奨しています。リモートの方法は、クラス委員にお任せします。

※クラス会促進委員会は「同窓会の充実とクラス会の開催の促進を図る」ことを第一に考え、活動しております。

※卒業生の皆様には、中学校・高等学校時代の仲間とともに恩師の先生を囲みクラス会を開催し、思い出話をして楽しく過ごしていただくために、クラス会開催のお手伝いをいたします。

※クラス会促進委員会は、校友会事務局、広報委員会とも連携し、会員からの情報を管理し、より多くの卒業生のクラス会開催を支援いたします。

* 事業計画項目 *

- 1) クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続を図る。
- 2) 母校と連携し、クラス会開催を促進する。
- 3) クラス会開催クラスの名簿の収集等を行う。
- 4) あらゆる場面を通じて、同窓会の活性化とクラス会開催の促進PRを行う。
- 5) クラス会およびクラブOB・OG会開催時(対面形式・リモート形式)に、名簿等の提供、1クラス15,000円の援助、学園の近況などの情報提供をできるように校友会との連携強化を図りながら支援を行う。

2023 (令和5) 年度 中学・高等学校 同窓会【予算書】

(期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	今年度 予算	昨年度 決算	増減額理由
1.	会 費	1,612,000	1,604,000	
内	1) 高校卒業者分(257名)	1,028,000	1,020,000	前年度(255名)
訳	2) 中学卒業者分(146名)	584,000	584,000	前年度(146名)
2.	活 動 費	1,700,000	1,591,000	
内	1) 校友会活動費	1,400,000	1,400,000	
訳	2) イベント協賛援助費	300,000	191,000	
3.	雑 収 入	50,000	51	
内	1) 祝金、貯金利子、他	50,000	51	
訳	2) 「二十歳の祝い会」会費	0	0	令和6年5月開催予定
訳	3) 記念事業積立金取崩	0	0	
A	小 計	3,362,000	3,195,051	
B	前期繰入金(R4年度より)	697,177	400,209	
C	収入合計	4,059,177	3,595,260	

《支出の部》

(単位:円)

	科 目	今年度 予算	昨年度 決算	増減額理由
1.	事 業 費	2,940,000	2,026,935	
内	1) 総会費	100,000	53,317	
	2) 「二十歳の祝い」準備費	700,000	891,000	令和6年5月開催予定
	3) クラス会クラブOB会開催補助金	900,000	270,000	
訳	4) 同窓会誌製作発行費	600,000	582,120	
	5) ネットワーク関係運営費	110,000	92,498	ホームページ管理、電子会議費他
	6) 校外研修会費	250,000	0	宿泊または日帰り研修会
	7) 『だんわ室』開設費	120,000	0	
	8) 委員会費	100,000	1,000	三委員会費合算
訳	9) 会計監査費	20,000	0	
	10) 運営委員会費	20,000	10,000	
	11) 会則検討委員会	20,000	0	
	12) 周年記念事業費	0	127,000	非開催年度
2.	会 議 費	500,000	266,569	
内	1) 通常幹事会	350,000	266,569	
訳	2) 武蔵野祭幹事会	150,000	0	
3.	諸 費	220,000	0	
内	1) 慶弔費	120,000	0	
訳	2) 交通費	50,000	0	
	3) 雑費	50,000	0	
4.	事務通信費	200,000	104,579	
内訳	1) 書類発送諸費	200,000	104,579	
5.	特別会計(記念事業積立金)	0	0	
6.	在学会員支援	50,000	500,000	
内	1) サポート募金	0	500,000	
訳	2) 会長奨励賞	50,000	0	
7.	予 備 費	100,000	0	
A	小 計	4,010,000	2,898,083	
B	次期繰越金(R6年度へ)	49,177	697,177	
C	支出合計	4,059,177	3,595,260	

学校・年次別卒業生一覧（令和3年卒～令和5年卒）

卒業年次	高等学校											合計
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	
R3	10	24	33	33	42	41	42	12	33			270
R4	9	25	35	36	38	17	20	37	38			255
R5	7	23	28	18	9	35	35	10	21	36	35	257
											合計 (累計)	782 (15,981)

卒業年次	中学校						合計
	A	B	C	D	E	F	
R3	28	28	33	29	29		147
R4	28	29	30	30	29		146
R5	31	29	29	29	28		146
						合計 (累計)	439 (3,218)

学校・卒業年次別担任・クラス委員一覧（令和3年卒～令和5年卒）

卒業年次		高等学校クラス											
		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	
R3	担任	山本将也	小松寛明	齊藤 周	堀内厚平	吉澤 稔	伊藤優一	奥原もな美					
	クラス委員	島田優希	青木杜馬	来住野朱音	沖田ひかる	清水陸貴	羽生あゆみ	鈴木里咲					
		吉田紗菜	早坂大智	宮本和馬	鷲尾隼弥	林 真綺	藤井怜生	安井映希					
R4	担任	星野 智	矢口陽一	小俣巴芳	米山 裕	松下佳世		河野吉伸	深見雅子				
	クラス委員	伊藤万里子	浅古龍之介	塩澤悠希	市井亮多	本多達郎		重田莉奈	中村里菜				
		古谷陽佳	千保宏翔	吉田陸人	林 太陽	福原閣雄		西村知己	築瀬陽紀				
R5	担任	中田和樹	柴山恵実	池田 巧		山住直政	八百屋尚志	横田美月		白岳 学	疋田康之		
	クラス委員	飯島大和	菅沼怜音	轉石健太郎		針木勇太郎	宋 河允	岩崎友哉		石川翔大	阿部俊哉		
		大屋優花	妙島由乃	小川紗英		柳原愛理香	若野蒼空	江原有香		松岡 遼	馬場陸人		

◆2024（令和6）年度 中学・高等学校同窓会総会のご案内◆

下記の要領で2024（令和6）年度の同窓会総会を開催いたします。
会員の皆様のご出席をお願いいたします。



◎日 時：2024（令和6）年5月25日（土）15：00～

◎場 所：東京電機大学中学校・高等学校 東京小金井キャンパス 小ホール

※詳細は中高同窓会ホームページ（<http://www.tdu-chukodoso.com>）に掲載いたします。

◆2024（令和6）年度 中学校・高等学校同窓会「二十歳の祝い」について◆

2024（令和6）年度の同窓会総会後に「二十歳の祝い」を開催いたします。
詳細は対象年次の方にご案内をお送りいたします。



編・集・後・期

新型コロナウイルスが感染症法上5類に分類されてから約1年が経過し、世の中はコロナ前の日常が少しずつ戻ってきています。同窓会でも4年ぶりに武蔵野祭「だんわ室」の運営などの活動が再開し、今号ではその活動の一部をご紹介します。同窓生の皆様も、クラス会の開催等で仲間との結びつきを深めていただければと思います。

クラス会の開催時には、同窓会から開催援助金をお出ししています。同窓会HPからオンラインで申請ができますのでご活用ください。

結びに、多くの皆様のお力添えで無事に『朋友』39号を発行することができました。厚く御礼申し上げます。